

審議テーマ・課題

課題解決の方向性

部会審議の内容・結果

第1回 4月25日開催 参加委員6名

1 地域における健康の推進

- (1) 神奈川県は、予防接種、住民健診の受診率が低く、川崎区はさらに低い状況にある。
(2) 接種率・検診の受診率が低いのは、外国人市民が多いという理由だけではない。

- ・ 予防接種の接種率低下の実情や原因をアンケートで調査する。
・ 啓発広報や受診支援等、把握された原因に応じた受診率向上につながる取組を検討する。

【審議内容】

予防接種アンケート調査の調査票の内容、実施方法など、たたき台を元に検討した。

【審議結果】

- ・ 調査の概要（目的・スケジュール）・調査項目等を案のとおり決定した（資料4）。
・ 配布対象（区内小学6年保護者・中学3年保護者）学校は現在調整中
【主な意見】
・ 調査票の配布対象は地域バランスにも考慮して決定する。
・ 未接種となる原因、時期や世代の傾向の把握につながる調査項目とする。
・ 説明文の中に予防接種の重要性等をアピールする文章を入れる。（啓発につなげる）

2 子どもを地域で支える、子どもの生きる力

- (1) 子どもの生きる力をつけるために、相談できる場所等、地域で子どもを支える環境づくりが必要である。
(2) 世代間交流の場を作ることが子どもたちの生きる力をつけることにつながる。

- ・ 地域で子どもの育成支援を行っている団体同士の情報共有や連携を図れる仕組みを検討する。

【審議内容】

子ども会やスカウト活動、総合型スポーツクラブ、子育てグループや母親クラブなど、子どもを地域で支える主な活動団体の現状を踏まえ、情報共有や連携の仕組みについて討議した。

【審議結果】

- ・ 「小学校区」「子ども文化センター（中学校区）」など身近な地域単位で考える。
・ 既存の活動団体が交流・情報交換を通じて互いを知り合う場の形成を目指す。
・ 場やテーマの設定、呼びかけの対象や手法について、次回以降検討し、具体案をまとめる。
【主な意見】
・ 異業種交流のようなイメージで活動団体の横のつながりをしかけていく。
・ 各団体にとって、加盟員募集や活動アピールの場とするなど参加メリットを創出する。
・ 地域に居場所がなく、活動に未参加の親子へのきっかけづくりを目指す。

3 外国人市民も住みやすいまちづくり

- (1) 予防接種や住民健診の案内が外国人市民にとって専門用語が多く、わかりづらい。
(2) 外国人市民に十分な情報が伝わっていない。
(3) 外国人市民へ十分な情報が行き届く仕組みが必要である。

- ・ 区役所各窓口における効果的な情報伝達の方法等を検討する。

【討議内容】

区役所窓口職員へのヒアリング調査で把握された、外国人市民対応に関する現状、取組の内容や課題等が報告された。

【討議結果】

- ・ 次回以降の会議で具体的な手法等を検討していく。
【主な意見】
・ 特になし（討議時間不足のため）